

3 確かな学力

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント		
意欲的に学習に取り組み「分かった・できた」を実感している	前期	おおむね良好	良好	学習の約束が身に付き、落ち着いて学習している。「かがやき集会」では、子どもたちが調査内容を堂々と発表していた。県学習状況調査の結果から、学習内容の定着がうかがえる。家庭学習も習慣化している。ただ読書に関する評価が低いのが気になる。読み聞かせは充実しているが、親子読書の回数を増やすなど保護者も本を読む姿を見せることが大事である。先生方にも一緒に読書をしたり、よい本を紹介したりしてほしい。図書室の蔵書数も増やしてほしい。		
	年度	良好				
評価指標			主な取り組み		自己評価B	
					前期	年度
⑤自分の思いや考えをもち、生き生きと伝え合う児童の育成			問いを生かした学習計画、体験的で問題解決的な学習		3	4
			ゴールを明確にした言語活動、考え・思いを伝え合う活動		3	4
⑥基本的学習習慣の形成、家庭学習と読書の習慣化			学団別学習の約束、学習ステップアップ、話形・聴形、ノート展		4	4
			家庭学習の習慣化、家読書、読書タイム・読み聞かせ		4	4

学校の改善策	【前期→後期】
	<p>⑤ 授業の分かりやすさや学習内容の理解に関する項目では、保護者アンケートの肯定率が9割を越える高い値を示している。問いを生かした学習計画やゴールを明確にした言語活動などを展開することが、児童の学習意欲の向上や内容理解につながっていると考える。一方で、児童の授業中の発表については、肯定率が86%に留まっており、もう少しがんばらせたい点である。考えや思いを伝え合う活動を今後も様々な場面で設定していくとともに、伝え合うことの必要感や伝え合うことで得られるよさを、児童自身が感じられるように意識して指導に当たっていく必要がある。同時に、発表するときの話し方や声の大きさなどについても指導が必要である。</p> <p>⑥ 基本的学習習慣については、学習ステップアップウィークで重点指導項目を設けたり、掲示物などを活用したりしながら指導に当たってきた結果、日頃から意識する児童が増えてきていると感じている。家庭学習や読書の習慣化については、児童の肯定率がそれぞれ100%、88%であるのに対して、保護者アンケートでは80%、61%であり、いずれも児童より低い値となった。家庭学習強調週間やノート展、学級通信等を通じておすすめのノートを家庭へ知らせたり、学校で行っている読書に関する取組(読み聞かせ、おすすめの本紹介、読書家ランキング等)をより積極的に家庭へ知らせる活動を考えたい。家庭学習も読書も、児童一人一人がその質を更に向上できるよう、個に応じた指導にも努めていきたい。</p>
	【後期→次年度】
	<p>⑤ 後期には研究部による「ちょこっと授業を見合う会」を通して、互いの授業からよさを学び、授業改善に努めることができた。課題提示や学習活動を工夫することで、児童の学習意欲を高めることができてはいるものの、「分かった・できた」を実感させるためには、個に応じた支援やさらなる授業改善が必要である。表現力の育成に関しては、上学年・下学年に分かれて音読発表会を行ったり、自学級以外の人たちと関わる機会を意図的に設定したりして、伝え合いの場や形態を工夫してきた。目的意識や相手意識をもって発表することで、少しずつではあるが発表時の話し方や声の大きさに改善が見られる。今後も励まし、認め、達成感や満足感を味わわせることで、自信や次への意欲につなげていきたい。</p> <p>⑥ 2学期の家庭学習強調週間では、上学年でグループノートに取り組んだり、友達のノートのよいところを付箋に書いて貼ったりして、互いのノートを意図的に見合う機会を設けた。また、PTAに合わせてノート展を行ったり、学年通信でおすすめのノートを紹介したりして、家庭へも啓発を図ることができた。これらの取組から家庭学習の内容やノートの使い方が向上した児童も多く、効果があったと言える。読書については、読み聞かせボランティアの方によるブックトークや読み聞かせグループ「かぜ」のみなさんによる全校読み聞かせ会を行い、全校の子どもたちが本のおもしろさに浸ることができた。また、グループ「かぜ」の谷京子さんによる教育講演会や冬休み中の親子読書への協力依頼など、家庭へも読書の取組について働きかけることができた。今後も継続していきたい。</p>

【各種データ】					
保護者アンケート					
		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
③	子どもは、学習の内容を理解している。	3.2	90	3.2	86
④	子どもは、家庭学習の習慣ができています。	3.0	80	3.0	74
⑤	子どもは、楽しんで読書をしている。	2.9	61	2.9	65
⑫	授業は分かりやすく工夫されている。	3.5	99	3.6	97
児童アンケート					
		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
①	授業中は先生の話をよく聞いて、集中して取り組んでいますか。	3.6	96	3.5	87
②	授業中は、できるだけ自分の考えを発表するようにがんばっていますか。	3.5	86	3.5	89
③	勉強に使うものは、忘れずにきちんと持ってきていますか。	3.3	89	3.3	89
④	学校の勉強はよく分かりますか。	3.6	92	3.4	90
⑤	家庭学習を毎日続けていますか。	3.8	100	3.7	96
⑥	読書をするのが好きですか。	3.6	88	3.5	85

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80～90%、前年度比103～107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60～79%、前年度比98～102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50～59%、前年度比93～97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下